

埼玉県立文書館

2019. 4. 2(火)

リニューアル OPEN



文書館のマスコット
もんじろう

いま再び開く、
50年目の“ふみくら”

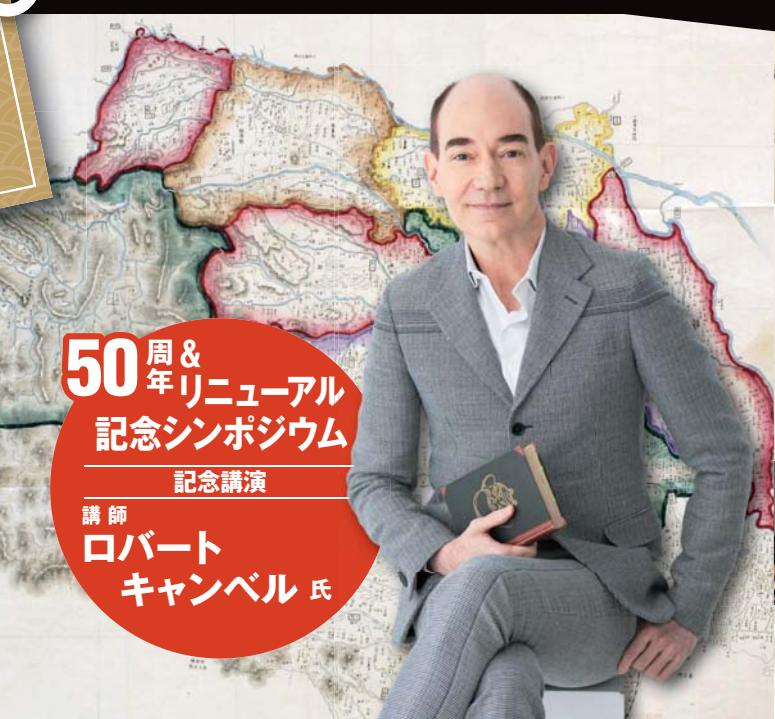
“ふみくら”とは、
文庫や書庫を表す
古い言葉です。



50周年
記念シンポジウム

記念講演

講師
ロバート
キャンベル 氏



50th

開館50周年＆リニューアル記念シンポジウム

2019年5月21日(火)

会場：埼玉会館小ホール JR浦和駅(西口)下車 徒歩6分
定員：350名(要申込) 参加費：無料



時 間 13:00～17:00(開場12:30～)

①記念講演 講師 ロバート・キャンベル 氏 (国文学研究資料館長、東京大学名誉教授)
「蔵の中には小宇宙～江戸から明治の“ふみくら”を開く～」

②パネルディスカッション
「“ふみくら”を開く—時代をつなぐ記録資料の世界—」

パネリスト 松沢 裕作 氏(慶應義塾大学経済学部准教授)
森本 祥子 氏(東京大学文書館准教授)
鈴木紀三雄 氏(行田市郷土博物館副館長)

【申込方法】 〈申込順〉 往復はがき(文書館あて) または 電子申請(文書館ホームページ参照)

※1通(1申請)につき、2名まで応募可能。

※往復はがきには、「記念シンポジウム希望」と記入のうえ、応募者全員の郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記してください。

【申込期間】 2019年4月1日(月) 受付開始 ※定員になり次第終了

【共催】埼玉県地域史料保存活用連絡協議会

【後援】独立行政法人国立公文書館、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、同関東部会、埼玉県文化財保護協会、埼玉県博物館連絡協議会、埼玉県図書館協会

文書館1F展示室

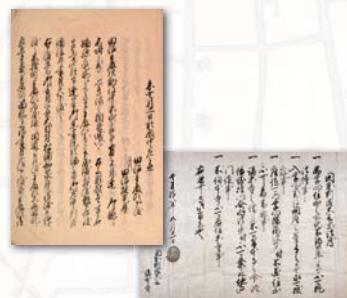
記念企画展

第1弾

「埼玉の“ふみくら”
—古文書から日本の歴史を見る—」

6月25日(火)～9月1日(日)

県立文書館では、これまで埼玉県の歴史を伝える数多くの古文書を収集・保存・公開してきましたが、そのなかには教科書などに登場する日本史上の出来事に関する古文書も少なくありません。本展では、中世末から江戸時代を中心に、皆さんも知っている人物やことがら、村人の生活、文化などを取り上げ、日本の歴史を見つめます。



第3弾

国重要文化財 埼玉県行政文書公開
「鉄道の埼玉—明治から現代へ—」

2020年1月14日(火)～3月8日(日)

1883年(明治16)に日本鉄道会社による上野から熊谷までの路線(現JR高崎線)が開業して以来、鉄道はビジネス、レジャー、通勤の足として県民に親しまれ、また駅は地域発展の核となっていました。この展示では国重要文化財「埼玉県行政文書」などの公文書や古文書を通じて、明治期から現代までの埼玉県の鉄道と鉄道に関わる人々の歴史を描き出します。



第2弾

「熊谷の記録と文化—RWCの地を訪れる—」

9月10日(火)～12月8日(日)

ラグビーワールドカップ2019日本大会の会場となっている熊谷は、江戸時代には交通や用水の要所として、明治時代以降も本県北部の中核として、豊かな歴史、文化を持ち、多くの人物が活躍した地域です。県立文書館には、こうした熊谷地域に伝來した文書群が多数保存されています。本展では、新公開資料である青木家文書(熊谷市下奈良)を中心に、江戸時代以降における熊谷、妻沼周辺地域の記録と文化を紹介します。



第4弾

「生活に役立つ地図」

2020年3月17日(火)～5月17日(日)

近年、地図がますます生活の中に入っています。地震や水害時における危険度と避難場所を明記したハザードマップ、保育園や病院、介護施設などの所在地と連絡先を示した生活便利地図、バスの停留所を網羅した地図、はては健康づくりのためのウォーキングマップや買い物地図なども各自治体から発行されています。本展では、埼玉県内の最新「お役立ち地図」を紹介します。



50th

2019年4月、埼玉県立文書館は大規模改修による臨時休館を終えてリニューアルオープンするとともに、文書館開館50年の記念すべき節目を迎えます。

【申込・問合せ先】埼玉県立文書館

Tel:048-865-0112 Fax:048-839-0539
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂4-3-18
E-mail:p6501121@pref.saitama.lg.jp

